人間社会学部／地域社会コース	職名	講師	氏名	黒川 すみれ

１．教員紹介・主な研究分野

2020 年、お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了。博士（社会科学）学位を取得。東京大学社会科学研究所特任助教等を経て、2022 年 4 月より本学に着任。

主な研究分野：家族社会学、計量社会学、労働社会学

女性が家族役割を担いながら、どのように職業キャリアを形成していくのかを研究しています。結婚、出産、就業など、人生におけるさまざまな出来事によって生じる地位や役割の移行に焦点をあてるライフコース研究です。マクロな社会変動とミクロな個人生活史との関連に着目した、社会学的研究に取り組んでいます。

２．研究業績

① 最近の著書・論文

- 黒川すみれ，2023,「女性のライフコース―結婚と就業」吉武由彩（編）『入門・福祉社会学―現代的課題との関わりで』学文社.
- 黒川すみれ，2023,「コロナショック後の所得変動」樋口美雄／労働政策研究・研修機構（編）『検証・コロナ期日本の働き方―意識・行動変化と雇用政策の課題』慶応義塾大学出版会.
- 黒川すみれ, 2023,「職場や働き方をめぐる個別労働紛争の男女比較分析」佐藤岩夫・阿部昌樹・太田勝造（編）『現代日本の紛争過程と司法政策―民事紛争全国調査　2016-2020』東京大学出版会.
- 黒川すみれ，2021,「コロナショックの所得格差拡大への影響―社会階層の視点から」樋口美雄／労働政策研究・研修機構 編『コロナ禍における個人と企業の変容―働き方・生活・格差と支援策』慶應義塾大学出版会、261-280.

②その他最近の業績

<学会発表>

- 黒川すみれ,「夫婦の就業経歴がウェルビーイングに及ぼす影響」第 75 回数理社会学会大会 2023 年 8 月.
- 黒川すみれ,「女性の働き方と意識の変容―東大社研パネル調査（JLPS）データの分析（６）」第 94 回日本社会学会大会，東京都立大学（オンライン），2021 年 11 月.

③過去の主要業績

- 黒川すみれ，2021,「コロナショックの所得格差拡大への影響―社会階層の視点から」樋口美雄／労働政策研究・研修機構 編『コロナ禍における個人と企業の変容―働き方・生活・格差と支援策』慶應義塾大学出版会、261-280.
- 黒川すみれ，2020,「女性活躍推進と不本意非正規労働」『東京女子大学社会学年報』第 8 号，1-16.

・ Kurokawa, Sumire, “Re-Defining Women’s Social Status By Optimal Matching of Occupational Career,” 19th International Sociological Association World Congress of Sociology, Canada Toronto, Poster, July, 2018.

３．外部研究資金

日本学術振興会科学研究費助成事業　若手研究（研究代表者）研究課題名「女性の職業キャリア研究における系列分析手法の応用」(課題番号 22K13543)、交付金額：3,250 千円、令和 4 年度～令和 6 年度.

４．受賞

５．所属学会

日本社会学会（研究活動委員会委員）、日本家族社会学会、数理社会学会、International Sociological Association RC28 (Social Stratification and Mobility)、西日本社会学会、日本社会分析学会

６．担当授業科目

公共性の社会学・2 単位・1 年・前期、家族社会学 A・2 単位・2 年・前期、家族社会学 B・2 単位・2 年・後期、社会調査実習Ⅰ・2 単位・2 年・前期、社会調査実習Ⅱ・2 単位・2 年・後期、福祉社会学・2 単位・3 年・前期、社会学の分析法 B・2 単位・3 年・後期、公共社会学研究Ⅰ・1 単位・3 年・前期、公共社会学研究Ⅱ・1 単位・3 年・後期、卒業論文・6 単位・4 年・通年

７．社会貢献活動

行橋市総合計画審議会　委員

田川市後藤寺駅前整備基本計画策定会議及び後藤寺駅前整備基本コンセプト検討部会　委員

飯塚市情報公開審査会　委員

８．学外講義・講演

立教大学社会情報教育研究センター「第 13 回社会調査フォーラム　R で学ぶ系列分析入門」講師

９．附属研究所の活動等